



令和5年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力 契約署名式及び小切手供与

2024年1月16日、在パナマ日本国大使館において、草の根・人間の安全保障無償資金協力の契約署名式および小切手供与が行われ、オテロ外務副大臣（多国間関係・国際協力担当）、アルグエジェス教育副大臣（行政担当）、カストレジョンパナマ・ロータリークラブ次期会長及びその他関係者の方々が出席しました。

同式典において、福島秀夫在パナマ日本国特命全権大使は、「ルカス・バルセナス公立学校食堂整備計画」及び「エスタード・デ・ミネソタ公立学校食堂整備計画」の被供与団体「パナマ・ロータリークラブ」の代表者と、プロジェクトの実施にかかる契約署名を行うと共に、案件実施のための資金計80,884米ドルを手交しました。上記案件の実施が、パナマにおける教育現場を通じた生徒の栄養不足の改善に繋がることが期待されます。

我が国は、草の根・人間の安全保障無償資金協力のスキームにより、過去29年間で合計236件の案件をパナマにおいて実施してきました。これらの案件は、いずれも実施団体の弛まぬ努力により優れた成果を上げています。本日契約署名されたプロジェクトにおいても必ず所期の成果を挙げられるものと考えております。



集合写真



署名式



署名後



福島大使による挨拶



アルグエジェス教育副大臣による挨拶



オテロ外務副大臣による挨拶



カストレジョンパナマ・ロータリークラブ
次期会長による挨拶



小切手授与①



小切手授与②

案件概要

案件 1 : ルカス・バルセナス公立学校食堂整備計画

案件 2 : エスタード・デ・ミネソタ公立学校食堂整備計画

被供与団体: パナマ・ロータリークラブ

供与内容: 食堂の建設・備品の整備

供与額: 案件 1. 36,065米ドル

案件 2. 44,819米ドル

合計: 80,884米ドル

案件概要: 貧困率の高い地域にある2つの公立学校では、ほぼ半数以上の生徒が低栄養状態に直面しており、食堂や調理場のスペース不足により必要な給食を受けられていない生徒が存在します。本プロジェクトの実施により、安定した学校給食の提供を通じて、危険な栄養失調にさらされている生徒の健康改善に貢献することを期待しています。